遠心式加湿器

D-3001
取扱説明書

●このたびは、遠心式加湿器D-3001をお求めいただき、ありがとうございました。
●この取扱説明書には、加湿器に関するご使用上の注意事項が記載されております。
●D-3001の機能を充分に発揮させ効果的にお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。
●お読みになった後は、大切に保管してください。加湿器の調子が悪くなったとき、またはわからなくないことがあったときにお役に立ちます。

概　　要 ・・・・・・・・・・・ 3
仕　　様 ・・・・・・・・・・・ 3
外 形 図 ・・・・・・・・・・・ 4
設　　置 ・・・・・・・・・・・ 4
保　　守 ・・・・・・・・・・・ 8
関連部品 ・・・・・・・・・・・ 8
部品展開図 ・・・・・・・・・・ 9

■安全上の注意

○＜取付及び取扱＞は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行って下さい。

○ここにしめした注意事項は ⚠警告 ⚠注意 に区分していますが、誤った取付けをした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいものを、特に ⚠警告 の欄にまとめて記載しています。しかし ⚠注意 の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守って下さい。

⚠警告

◆メンテナンスをする時は必ず運転を停止して、電源を切って下さい。電源を切らないでメンテナンスをすると、怪我や感電の原因となります。

◆付属のコンセントにアース線を取付けて下さい（D種接地工事）。アース線が不完全の場合には感電などの原因になることがあります。

◆電源ヒューズの代わりに針金などを使用しないで下さい。万一ヒューズが切れたときは、必ず正しいアンペアの電源ヒューズと交換して下さい。針金や銅線などを使うことは、絶対に避けて下さい。

◆電気接続部を濡らさないで下さい。漏電や絶縁不良、故障などの原因になります。

◆改修、改造は絶対にしないで下さい。また、修理は、お買い上げの販売店にご相談下さい。修理に不備があると、水漏れや感電、火災の原因となります。

⚠注意

◆運転したまま移動しないで下さい。運転中の移動は機械に無理がかかり故障のもとになりますので、おやめください。

◆動かす前に水皿の水を捨てて下さい。そのまま動かしますと、水がこぼれて電気絶縁を悪くしたり、床をぬらします。

◆運搬する場合は、電源プラグを抜いてから静かに行ってください。

◆電源プラグの抜き差しによる運転はおやめ下さい。感電したり、過熱のもとになることがあります。

◆停電になったときは、電源スイッチをお切り下さい。運転中に停電になり、電源スイッチをそのままにしておきますと、次に電気がきたときに各種電気製品が同時に始動し、大きな電流が流れ、ブレーカーが動作したり、電源ヒューズが切れることがあります。

◆差し込みプラグの抜き差しは、コードを引っ張らず、必ず差し込みプラグを持って抜き差しして下さい。

◆吸込口及び吹出口はふさがないで下さい。吸込口や吹出口がふさがれていますと、加湿の効果が下がります。

◆吹出口に手や物などを入れないで下さい。吹出口に手や物などを入れると、内部の送風機などに触れて大変危険です。

◆ 次のようなときは、D-3001を屋外に移すか、あるいはポリ袋などで厳重に保護して下さい。

・大掃除などでほこりがひどいとき。 ・消毒、殺菌をおこなうとき。

・その他製品に悪影響を及ぼすと思われるとき。

◆窓、扉などを開け放しにすると、加湿された空気が外に逃げてしまいますので、ご注意下さい。また、外の空気が多く流れ込みますと、室内の空気清浄及び加湿の効果が低くなります。また部屋の扉の開閉は、できるだけ少なくして下さい。

◆定期的に分解、掃除をして下さい。加湿器内部が汚れますと、加湿効果が低下します。

◆長期間運転停止するときは、差し込みプラグをコンセントから抜き、給水タンク及び水皿の水を捨てて下さい。水をいつまでも入れたままにしておきますと、水が汚れるばかりでなく細菌が繁殖する原因にもなります。

■概　要

D-3001は床置型に設計された遠心式加湿器で、霧は上方に噴霧されます。変流キャップ（オプション）を用いれば、45°上方に噴霧することもできます。

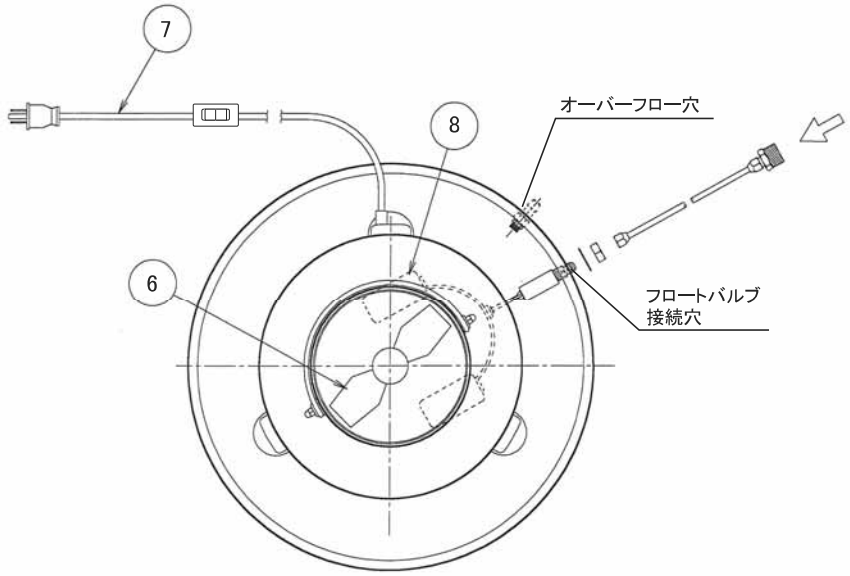
移動可能なポータブル型で、重量はわずか7kgであり、標準ユニットは6Lの水槽付です。

自動給水タイプと手動給水タイプがあり、自動給水タイプに湿度調節器を組み合わせれば完全自動運転が可能です。

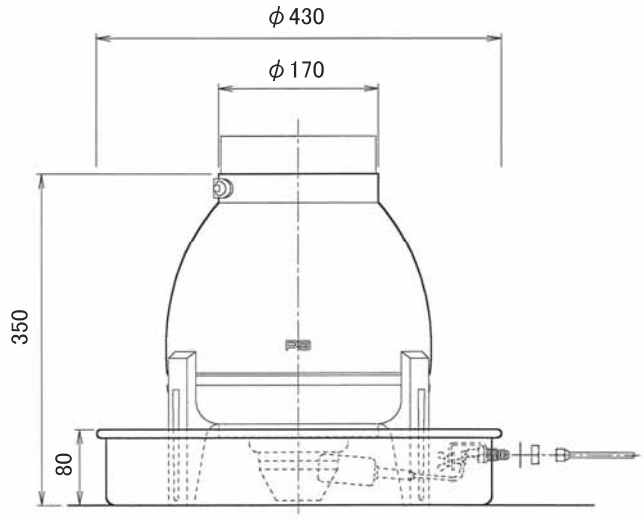
■仕　様

型　　式	D-3001
加 湿 量	3.0/4.0L
定格電源	100V 50/60Hz
消費電力	75/125W
貯 水 量	6.0L
給水圧力	0.03～0.5MPa（0.3～5.0kg/cm²） （自動給水タイプの場合）
空 重 量	7.0kg
外形寸法	φ430 H350mm
風　　量	280m³/h
周囲温湿度	5～35℃　～85%RH

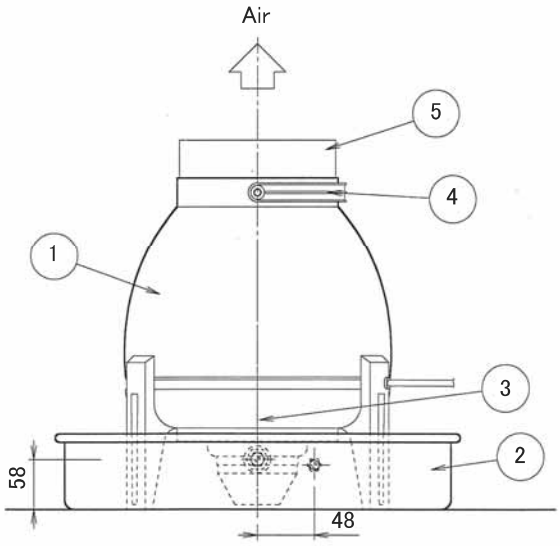
■外形図



番号	
①	上部カバー
②	水槽
③	本体銘板
④	取っ手
⑤	カラー
⑥	2次側ファン
⑦	アース付電源コード （中間スイッチ付）
⑧	フロートバルブセット （自動給水タイプのみ）



正面図



側面図

■設　置

1 配置

D-3001は床の上、または棚の上など安定した場所に置いて使用してください。
加湿器本体の周囲2～4m、上方2mまで湿度が高くなりますので、スペースを確保してください。
周囲にスペースが確保できない場合は変流キャップ（オプション）を用いて、霧の向きを変えて使用することができます。

2 付属品の設置

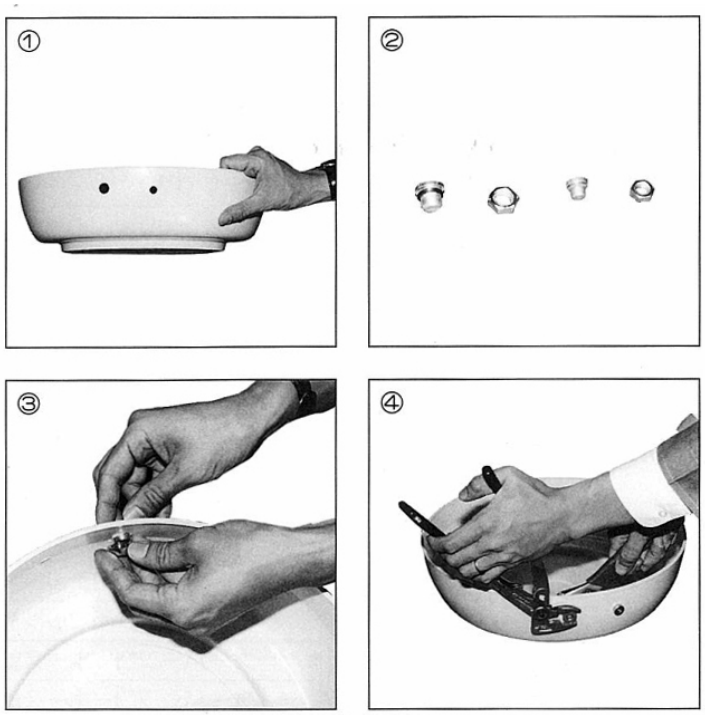
手動給水タイプ

①水槽の横に2つの穴が開いていることを確認します。（写真の水槽とは形状が異なります。）

②左から 閉止プラグ（大）、ナット（大）、閉止プラグ（小）、ナット（小）です。

③水槽に開いている2つの穴に閉止プラグを取り付け、ナットで固定します。
大きい穴に閉止プラグ（大）とナット（大）を、小さい方の穴に閉止プラグ（小）とナット（小）を取り付けます。

④モンキースパナとプライヤーで固定してください。締め方がゆるいと水漏れの原因となります。



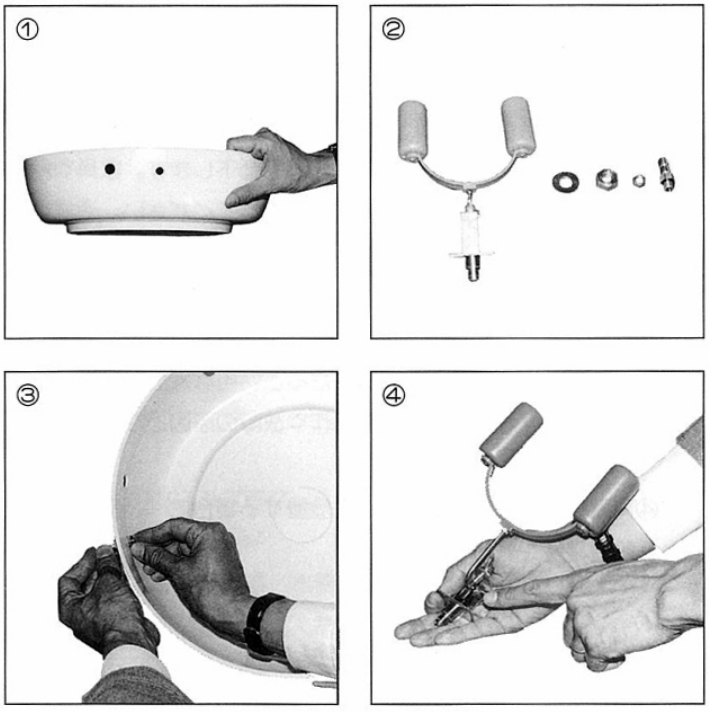
自動給水タイプ

①水槽の横に2つの穴が開いていることを確認します。（写真の水槽とは形状が異なります。）

②左から フロートバルブ、ストップピン用ワッシャー、ストップピン用ナット、オーバーフローホース継手用ナット、オーバーフローホース継手です。

③水槽に開いている小さな穴にオーバーフローホース継手を差し込んで、オーバーフローホース継手用ナットで固定します。

④フロートバルブのゴムの切れ目が下向きになっているのを確認します。



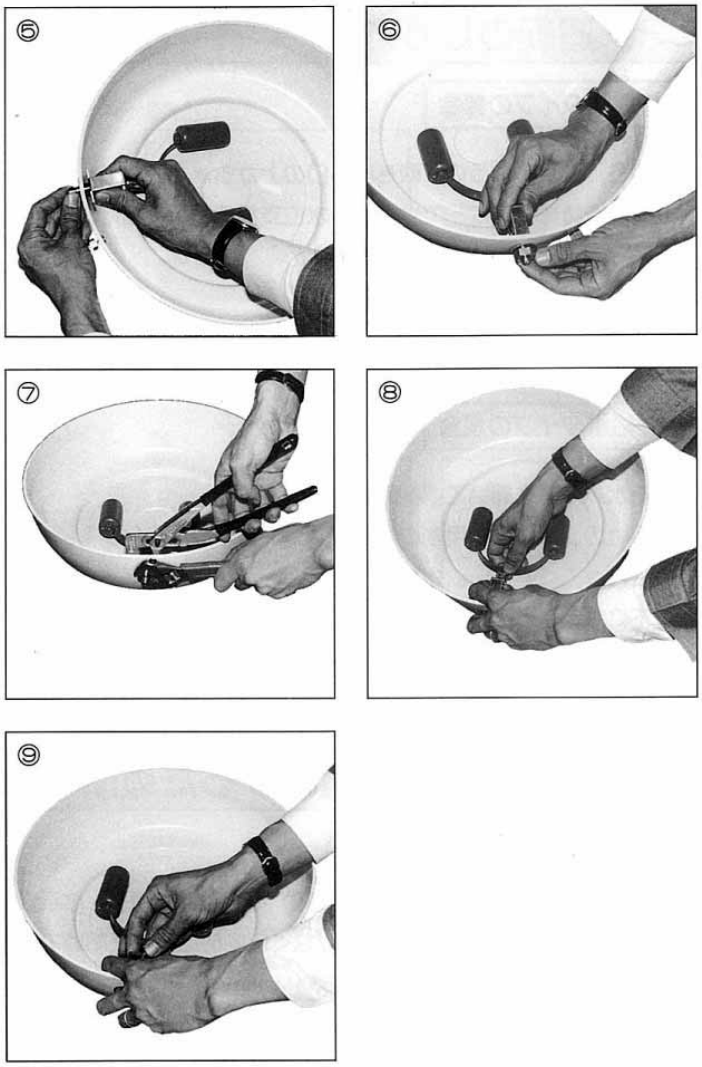
⑤向きが変わらないよう注意しながら、大きな穴の方に差し込みます。

⑥ストップピン用ワッシャーを入れ、ストップピン用ナットで固定します。

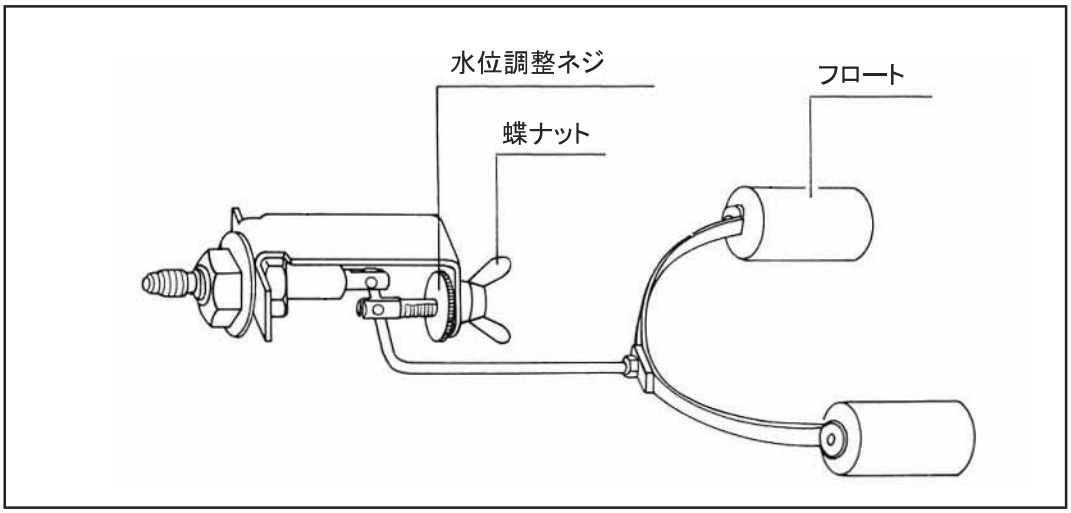
⑦モンキースパナとプライヤーで、しっかり固定してください。締め方がゆるいと水漏れの原因となります。

⑧フロートを持ち上げて、水槽の底面と水平になるように調節します。

⑨水位調整ネジを左右に回し、蝶ナットで締め付けて、フロートの高さを調節します。



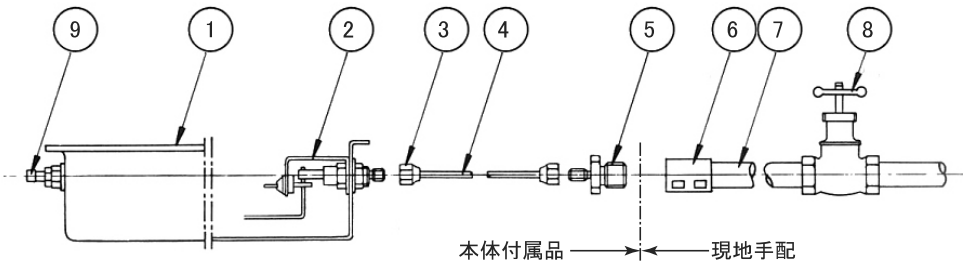
フロートバルブ　各部名称



3 配管（自動給水タイプのみ）フロートの動作確認

自動給水タイプの場合、給水圧の許容値は0.03～0.5MPa（0.3～5.0kg/cm²）です。加湿器本体から付属の接続管を介して配管します。現地配管は15Aで行ってください。

給水配管（自動給水）



① 水槽
② フロートバルブ
③ フレアーナット
④ 銅管
⑤ ハーフユニオン
⑥ ソケット 15A
⑦ 鋼管 12A
⑧ バルブ
⑨ オーバーフロー穴

給水配管接続完了後バルブを開き、フロートの動作を確認します。水が一定水位に達するとフロートバルブが閉じて給水が止まります。水槽の赤い水位線以上になると霧の噴霧に支障をきたしますので、水位が高すぎたり低すぎたりする場合はフロートバルブを調整してください。

4 自動給水用フロートバルブの調整

自動給水用フロートバルブは出荷時に水位調整されていますが、現場にて再度調整する場合は下記要領にて行ってください。

1. 水位を高くする場合　蝶ナットをゆるめ、水位調整ネジを水槽外側方向へ移動させて調整し、蝶ナットで固定する。
2. 水位を低くする場合　蝶ナットをゆるめ、水位調整ネジを水槽中心方向へ移動させて調整し、蝶ナットで固定する。

設定水位が高すぎると早期故障の原因になりますのでご注意ください。水位が低すぎると加湿量の減少にもなります。

注）自動給水の場合、万一の水漏れに備えてドレンパン、漏水検知器等を設置してください。

5 電気接続と制御

電源に100V（50または60Hz)を供給してください。
湿度調節器を使用する場合は、2A/100V以上の接点容量を持ったものを使用してください。（次ページのリモートアダプターをオプションでご用意しています。）

■保　守

1 日常の手入れ　加湿器本体下部のストレーナー取付枠を固定している3個のネジを外し、吸水管、ストレーナーなどをブラシできれいに水洗いしてください。3本の脚の外側にある3つのビスを外せば上部カバーが取り外せますので、回転盤、エリミネーターなど内部をきれいに水洗いしてください。汚れがひどい場合は中性洗剤を使ってください。洗浄後約15分程度自然乾燥させ、さらに15分程度空運転して乾かしてください。

周辺の空気や本体の汚れ具合に応じて、1～2週間ごとに清掃してください。

注）モーターカバーは開かないでください。機械油等を差す必要はありません。シンナーやワイヤーブラシは故障の原因となりますので使用しないでください。

2 長期間使用しない場合　水槽内の水を捨て、水槽と本体を完全に乾燥させてください。濡れたまま放置すると汚れ、悪臭、故障の原因となります。

3 正常に動作しない場合

1 フロートバルブが閉じない

水が水位線に達しても給水が止まらない場合は、フロートバルブの動作が異常です。フロートバルブを掃除して給水し、正常な水位に調整してください。

2 モーターが始動しない

モーターは過負荷の場合は始動しません。電源を切り、供給電圧、水位、不純物の付着などを点検し整備してください。

3 霧が出ない

下部ストレーナー及び吸水管にゴミが詰っていたり、カラーが規定の位置より下がりすぎていないか確認してください。

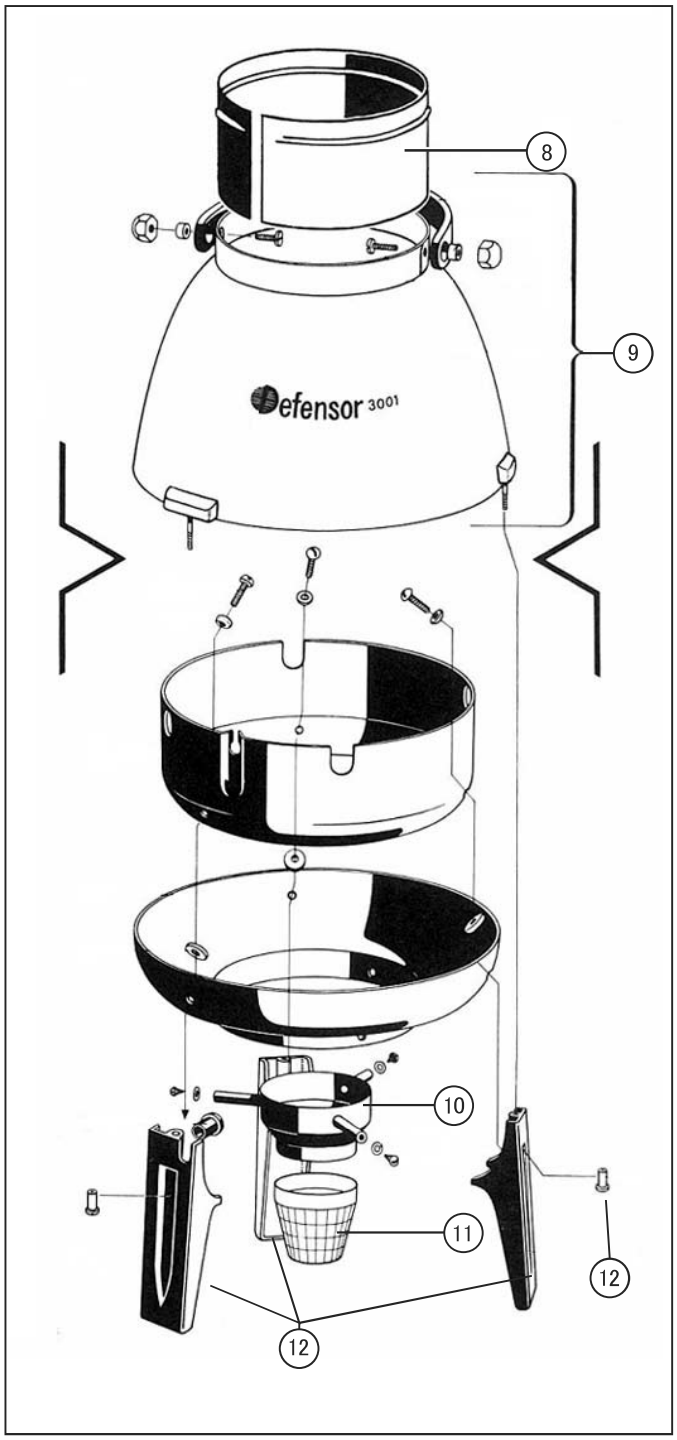
上記を確認しても正常に動作しない場合は、当社までご連絡ください。

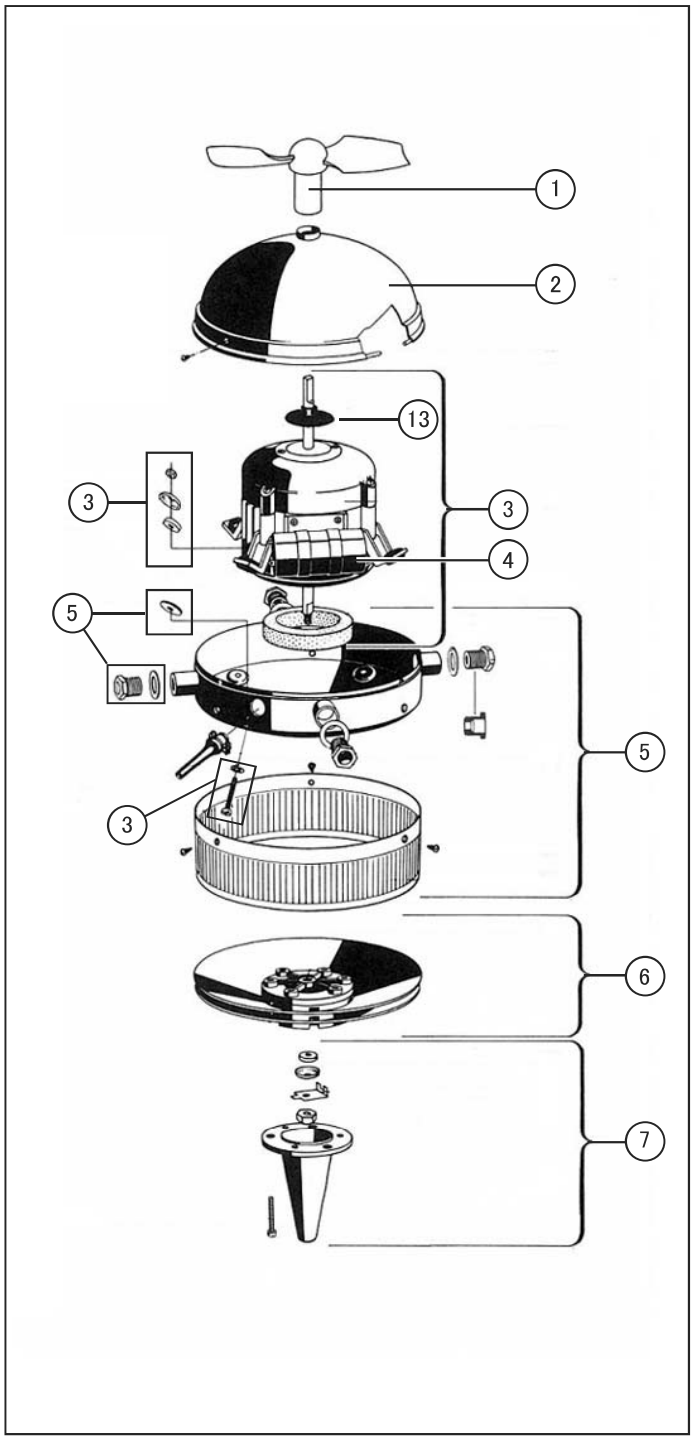
■関連部品（オプション）　用途、目的に応じて以下のオプションをお使いください。

湿度調節器

室内の湿度を感知し、加湿器を制御します。

■部品展開図





部品管理番号	名称
1	2次側ファン
2	モーターカバー
3	モーターセット
4	コンデンサー
5	モーター取付板セット
6	回転盤セット
7	吸水管セット

部品管理番号	名称
8	カラー
9	上部カバーセット
10	ストレーナー取付枠
11	ストレーナー
12	脚セット（ネジ付）
13	モーターカバー受け

http://www.ps-group.co.jp

ピーエス工業株式会社

東　京	東京都渋谷区富ヶ谷1-1-3	03-3485-8811
名古屋	愛知県名古屋市名東区上社2-168	052-775-7621
大　阪	大阪府吹田市垂水町3-16-3	06-6338-7151
福　岡	福岡県福岡市博多区中洲中島町3-10	092-281-9200
熊　本	熊本県熊本市中央区中唐人町1番地	096-356-2201
湿度センター「モンスーン」	東京都杉並区宮前1-16-9	03-3335-5161

ピーエスグループ各社

北海道	ピーエス(株)	北海道北広島市共栄41-3	011-372-7601
盛　岡	ピーエス(株)	岩手県盛岡市愛宕町16-5	019-653-3780
仙　台	ピーエス(株)	宮城県仙台市青葉区立町20-11	022-211-5431
東　京	ピーエス暖房機(株)	東京都渋谷区富ヶ谷1-1-3	03-3469-7121
長　野	長野ピーエス(株)	長野県長野市若里1丁目23-11	026-228-4334
新　潟	ピーエス暖房機(株)	新潟県新潟市西区平島379-1	025-230-6393

1401120